

令和8年4月から プラスチックの 分別が変わります

リサイクルで未来の環境を守る

令和8年4月から、「容器包装プラスチック(容プラ)」に「製品プラスチック(製品プラ)」を加えた「資源プラスチック」の分別収集が始まります。限りある資源を有効活用し、美しい地球環境を未来につなぐため、分別にご協力をお願いします。
担当 清掃リサイクル課 電話 94-7502

かながわプラごみゼロ宣言

不適切に処分されたプラスチックによる海洋汚染は深刻化しており、世界的な問題となっています。本市は海に面している地域ではありませんが、神奈川県沿岸に打ち上げられるごみの約7割が内陸から流れ出たものという調査結果があることから、私たちも無関係ではありません。

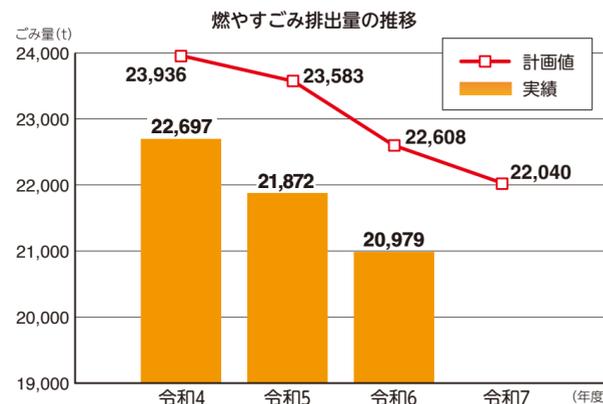
海へ流れ出したプラスチックごみは、海の生き物への影響が懸念されています。実際に、鎌倉市の由比ガ浜に打ち上げられたシロナガスクジラの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが見つかりました。こうした状況から、県は「かながわプラごみゼロ宣言」を発表し、本市も賛同しています。



混ぜればごみ 分ければ資源

正しく分別することで、燃やすごみを減らすことができます。市民の皆さんの取り組みにより、令和6年度の燃やすごみは2万979トンと前年度から893トン減量できました。令和7年度も9月末時点で昨年同時期に比べ469トン減量しています。計画値以上に減量できていますが、まだまだ燃やすごみの中に、雑紙や容プラなどのリサイクルできる資源が混ざっている状況が見受けられます。

令和6年度から草木類のステーション収集を開始し、令和8年度からは資源プラスチックの収集が始まるため、正しく分別すれば、さらに燃やすごみの減量ができます。未来の環境を守るため、「混ぜればごみ 分ければ資源」を合言葉に、燃やすごみを減らしましょう。



資源プラスチックの収集が始まります

令和8年4月から、これまで収集していた容プラに加えて、プラスチックのみでできている製品プラも対象とした「資源プラスチック」の収集が始まります。

資源プラスチックの出し方

容器包装プラスチック

◆プラスチック製で商品を入れてあったもの(容器)や包んであったもの(包装)

このマークが目印



※軽く水洗いするか、汚れを拭き取り、お菓子などの袋は中身を空にして、汚れを取ってください。固形物が残っている場合や、すすいでも落ちにくいものは燃やすごみへ

製品プラスチック

◆100%プラスチックでできているもの
◆一番長い辺が50cm未満のもの ※広げた場合も含む
◆厚さが5mm未満のもの
◆汚れていないもの ※軽く水洗いして汚れを取ってください。土砂などの汚れが取れないものは燃やすごみへ



資源プラスチック

透明か半透明の袋に入れて、ごみ集積所へ出してください。

※令和8年度から、「容器包装プラスチック収集日」は「資源プラスチック収集日」になりますが、収集の曜日や回数に変更はありません

モデル事業を行いました

資源プラスチックの分別収集に向けて排出量や排出物の分析をするため、7月にモデル事業として、一部の地域で実際に資源プラスチックの収集を行いました。

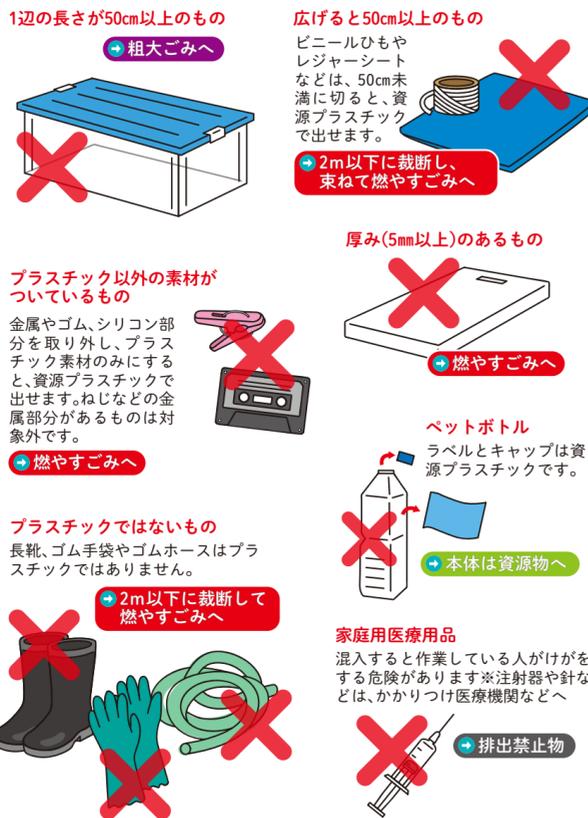
モデル事業の収集実績

項目	量	割合
容器包装プラスチック	853.13 kg	87.50%
製品プラスチック	70.04 kg	7.18%
汚れの付着した容プラ	11.77 kg	1.21%
ペットボトル	6.73 kg	0.69%
その他素材(缶・びん・紙)	1.38 kg	0.14%
その他異物(可燃・不燃物など)	31.91 kg	3.27%
禁忌品(刃物、医療系廃棄物など)	0.04 kg	0.004%
合計	975 kg	100%

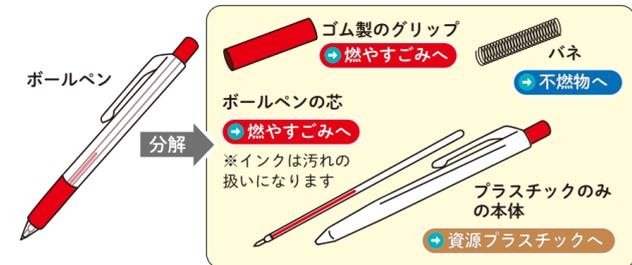
回収したもののうち、対象でない異物は約5%でした。

資源プラスチックとして収集できないもの

対象外の物を入れると、処理施設内での発火や機械故障の原因となり、ごみの処理ができなくなる恐れがあります。



ひと手間加えると資源プラスチックとして分別できます



異物として含まれていたもの

土砂などで汚れたままのプリンターや、生ごみ、使用済みおむつ、たばこ、カミソリ、木の板、汚れが残ったプラスチック容器など



アンケート結果

モデル事業の参加者にアンケートを実施したところ、容プラのみを収集する従来の分別方法と比べて、資源プラスチックを収集する分別方法は、「分かりやすかった」「どちらかという区分けやすかった」の回答が全体の7割以上を占めました。また、参加した感想として、「資源の有効活用、環境に良い行動をしている」「ごみの減量につながる」など、環境に対する意識が高いことが分かりました。

回収した容プラはどうなるのか

資源リサイクルセンターを管理・運営しているフジメタルリサイクル(株)の野崎さんにお話を伺いました。

異物は手作業で取り除いています

回収された容プラは、資源リサイクルセンターへ搬入した後、袋から中身を出し、手作業で異物を取り除きます。その後、機械で圧縮したものをリサイクル施設へ運びます。

食べ物が混入していると作業場が汚れてしまい、片付けるために機械を止めて掃除しなければならず、作業が中断される上に、保管施設での衛生面の問題やリサイクル工程においても支障をきたします。また、最近ではリチウムイオン電池の混入が増えており、発火事故につながる恐れがあるため、慎重に作業しています。

見た目がプラスチックだからと安易に容プラへ分別してしまうのではなく、食べ物の汚れがないか、金属、電池などの異物が含まれていないかをよく確認していただきたいです。令和8年度から資源プラスチックの分別が始まりますので、適切に分別していただくよう、ご協力をお願いします。



野崎 泰行さん



手作業で異物を取り除いています

圧縮して梱包したものをリサイクル施設へ運びます

処理されたプラスチックごみは、荷物を乗せるために使うパレットや、天然の木に似せて作られた擬木など、リサイクル施設でさまざまなものに生まれ変わります。



荷物を運ぶためのパレット

公園にある擬木で作られたベンチ

リチウムイオン電池などを正しく分別しましょう

近年、全国でリチウムイオン電池の誤った分別による、収集車や処理施設の火災が増加しています。小型家電やモバイルバッテリーなど、リチウムイオン電池を使用した製品は正しく分別されないと、収集の過程で破損・圧縮されることで発火し、収集車や処理施設で火災が起きてしまい大変危険です。リチウムイオン電池の適正な分別にご協力をお願いします。

リサイクルマークがあるものについては、リサイクル協力店または環境美化センターにお持ちください。



Ni-Cd 二カド電池

Ni-MH ニッケル水素電池

Li-ion リチウムイオン電池

市ホームページ

リサイクル協力店

LINEで粗大ごみの回収予約ができます

市LINE公式アカウントから、粗大ごみの戸別回収予約ができるようになりました。

市LINE公式アカウント「ごみの出し方」から予約することができます※これまで通り、電話での予約も可能です



「ごみの出し方」メニューのイメージ